

*Snowstorm protection fence*



吹雪や吹きだまりの  
道路交通障害に

# TSK 防雪柵

吹払式防雪柵    吹溜式防雪柵  
吹上防止柵    透光板式防雪柵

# 円滑で安全な冬期交通のために

吹雪や吹きだまりによる交通遮断は、正常な生活サイクルの大きな障害となります。また、吹雪による道路上の視界不良によって引き起こされる事故も少なくありません。円滑で安全な冬期交通の確保には、十分な対策が必要となります。当社では、積雪地それぞれの自然条件を考慮し、実験を重ねて防雪柵の開発を推進してきました。地吹雪による視界障害の軽減をする吹払柵をはじめ、吹上防止柵、道路上の吹きだまりを防ぐ吹溜柵、さらに運転者の視野拡大に大きな効果を発揮する透光板式防雪柵にいたるまで、各種の防雪柵を用意しています。ぜひお役立て下さい。





### 吹払式防雪柵

道路用地内に設置し、地吹雪を路面上1m以下に集めて通過させ、道路通行車両の視程障害を軽減させます。柵高は、3.5mを標準としています。

### 吹溜式防雪柵

柵により風速を低減させ、柵の前後に雪を堆積させて、道路面の吹きだまりを防ぎます。雪庇発生防止用としても使用されます。柵高は、3.0m～5.5mまであります。

### 吹上防止柵

吹上げ斜面上部に設置し、柵の風上側に雪を吹きだめることにより、視程障害の発生を防止します。

### 透光板式防雪柵

防雪板が透明なため運転者の視野が広く、交差点での使用も可能です。吹払柵、吹溜柵の各タイプがあります。

### 防雪柵の効果

吹雪による道路上の視界不良は交通事故や交通遮断の原因となります。この写真では防雪柵が設置されている場所とない場所での道路に侵入した雪の量にかなりの差があり、防雪柵の効果がよく確認できます。



### 効果的な防雪柵開発を推進

防雪柵を必要とする場所は、地形、風速、積雪量などそれぞれが異なります。当社では、そうしたさまざまな自然状況を想定し、風洞実験や構造解析を積極的に実施。より効果的な防雪柵開発に努めています。



風洞実験装置



吹払柵の空気の流れ



吹上防止柵の空気の流れ

吹払式防雪柵

# TBG型 TBH型

自立型



TBG型



TBH型

◀傾斜地への施工も可能です。(TBG型)

路肩にコンクリート基礎を設け、直立に設置しますので、ステー用地の問題がありません。TBG型は2本支柱、TBH型はH鋼1本支柱で、TBH型はTBM(上部収納型)との併用が可能です。ともに防雪板を水平にできるため、無雪期における視界を確保できます。



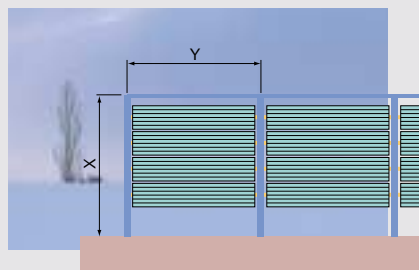
TBG型



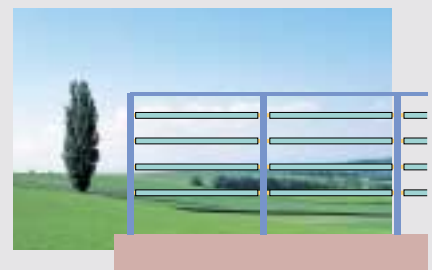
パネルを水平にした状態(TBG型)



積雪期



無雪期



型 式	支柱高さ(X)	支柱間隔(Y)
TBG TBH-3型	3.5m	4.0m
TBG TBH-4型		3.5m
TBG TBH-5型		

形式の3型は風速30m級、4型は風速40m級、5型は風速50m級に対応します。

吹払式防雪柵

# TBM型

卷上型



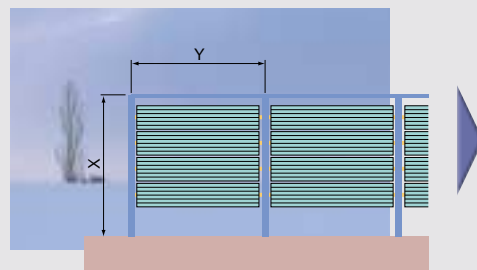
無雪期には、本体に装着された巻き上げ用ワイヤロープを使用して、防雪板を上部に収納することができます。道路面から約2.7mあきますので、良好な視界が得られます。



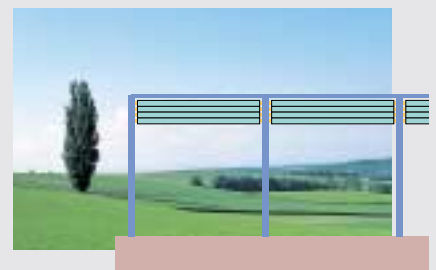
可動部



積雪期



無雪期



型 式	支柱高さ(X)	支柱間隔(Y)
TBM-3型	3.65m	4.0m
TBM-4型		4.0m
TBM-5型	3.65m	3.5m

形式の3型は風速30m級、4型は風速40m級、5型は風速50m級に対応します。

吹払式防雪柵

# TBJ型

除雪型



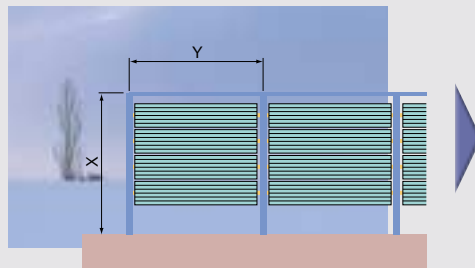
傾斜地への施工も可能です。



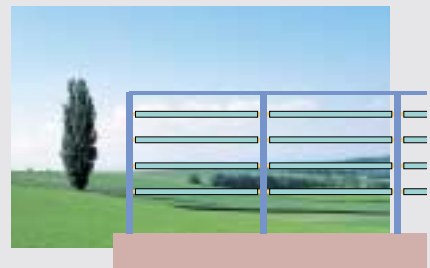
グレーダーなどによる除雪が可能なタイプです。道路面から最下段の防雪板までの高さを十分とっており、支柱と路肩間のスペースも大きくなるよう設計されています。



積雪期



無雪期



型 式	支柱高さ(X)	支柱間隔(Y)
TBJ-3型	4.2m	4.0m
TBJ-4型		3.5m
TBJ-5型		

形式の3型は風速30m級、4型は風速40m級、5型は風速50m級に対応します。

吹払式防雪柵

# TBO型

折畳型

防雪板を下部に収納するタイプで支柱も折り畳むことができます。その状態での道路面からの高さは、ガードレール程度の高さのため、運転者に違和感を与えません。

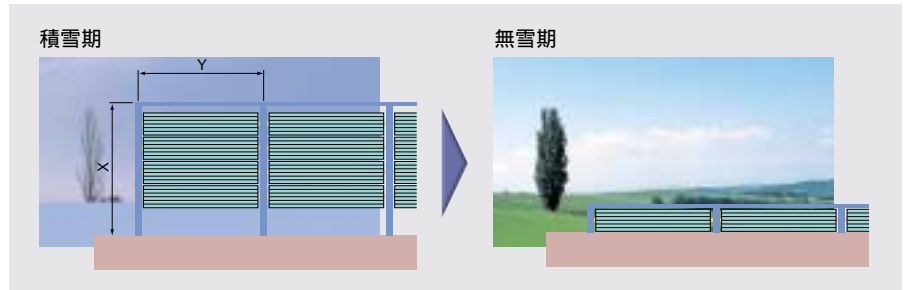


無雪期



型 式	支柱高さ(X)	支柱間隔(Y)
TBO-3型	3.65m	4.0m
TBO-4型		
TBO-5型		3.5m

形式の3型は風速30m級、4型は風速40m級、5型は風速50m級に対応します。



吹溜式防雪柵

# TBD型

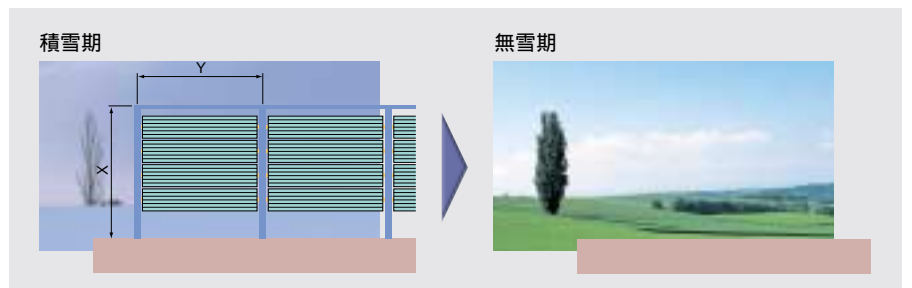
仮設型

シンプルな構造で軽量なため、組立や分解・撤去が簡単です。傾斜部・曲線部にも柔軟に対応することができ、道路面の吹きだまりを効率的に防ぎます。



型 式	支柱高さ(X)	支柱間隔(Y)
TBD-3型	3.05m	4.0m
TBD-4型		3.0m
TBD-5型		2.5m

形式の3型は風速30m級、4型は風速40m級、5型は風速50m級に対応します。

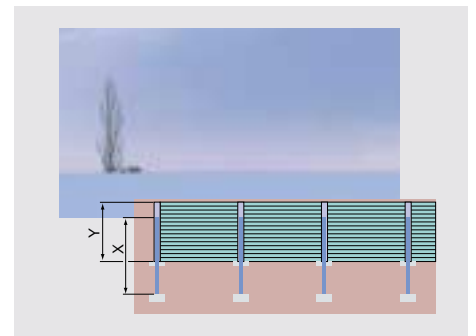


吹上防止柵

# TBF型

吹溜型

柵の下方に雪を吹きだめることによって、吹き上がりによる視界不良を防ぎます。柵上端が路面以下になるように設計されていますので、まわりの景観を損ないません。



型 式	支柱高さ(X)	主桁長(Y)
TBF- 型	3.3m	4.0m
TBF- 型		5.0m

## 透光板式防雪柵

吹払式/吹溜式

防雪板が透明なため広い視野が得られますので、交差点での使用も可能です。また、常設しても運転者に圧迫感を与えません。素材のポリカーボネイトとアクリル板は、電波障害を起こさない、耐食性・耐久性に優れているなど、多くの特長があります。



TBH-型



TBJ-型

積雪期



無雪期

